

横浜市立矢向小学校 令和元年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 全教職員が自立とチームワークを基盤としながら、主体的に学校経営に参画し、「チーム矢向」として、チーム力を生かして「活力」「魅力」ある学校づくりを推進します。
- 基本的な学習内容の定着並びに学力の向上に向け、授業改善を通して、授業力の向上を目指します。
- 人権尊重を基盤にした教育活動を通して、「自尊感情」や「思いやりの気持ち」をもてる児童の育成を目指します。
- 家庭・地域・関係機関や公共施設と交流・連携を深め、開かれた学校づくりを推進します。

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	健やかな体	心と体の健康を守るための実践的態度を培う体験活動を教育課程に位置づけ、自他の生命を大切にしようとする子を育てる。	①昼休みを活用した体力を高めるための活動を児童が企画実行できるよう支援し、体力向上並びに生活習慣の向上を図る。 ②体育朝会を通し、正しい集団行動の仕方や正しいラジオ体操の動きを高める。 ③重点研究を通して各運動領域における技能を高めたり、養護教諭、栄養技師と連携し、保健・安全・衛生や食育に対する関心を高めたりする。
	体育部 保健指導部		

2 体育健康に関する実態把握

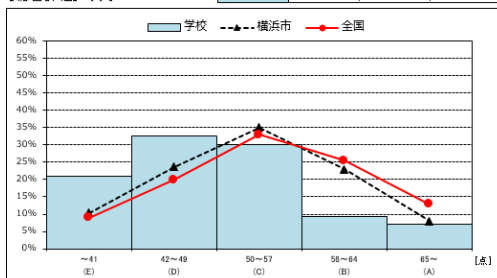
(1) 体育・健康に関する実態

- ・朝食の摂取率は上昇傾向にある。毎日食べるは全国平均を上回る結果になった。
- ・睡眠時間が全国、横浜市の平均に比べ少ない傾向がある。TVやスマートフォンなどの画面を見ている時間が平均よりも多いことが原因と考えられる。
- ・保健室の利用状況（傷病の状況）は、生活中的の怪我で来室する子どもが多く、養護教諭が対応に追われている。

(2) 体力の概要と要因の分析

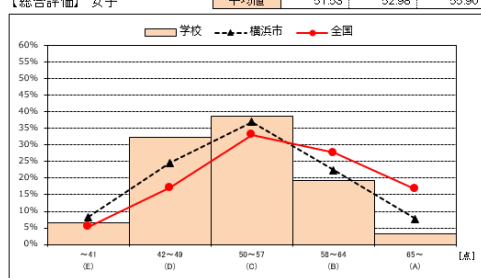
【総合評価】 男子

	学校	横浜市	全国
平均値	49.60	52.68	54.21



【総合評価】 女子

	学校	横浜市	全国
平均値	51.53	52.98	55.90



総合評価では、全国、横浜市の平均に比べて、下回っている。各種目で見ると、上半身系は、平均とほぼ一緒だが、下半身系が全て平均より下回っていた。委員会の企画等で、下半身を強化できるようにしていきたい。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- 各運動領域において、運動の特性を教師がきちんととらえ、児童が楽しみながら体力を高めていけるようにする。
- 保健では、生活習慣を整えることの大切さを理解できる授業づくりをする。
- よりよい体育科の授業づくりのために、重点研究を通して教師たちによる研修の機会をつくる。

《他教科での取組》

- 家庭科では、栄養と食べ物、健康、家庭の役割など、食育との関連を図る。
- 理科ではからだの仕組みや生命、人と環境、自然など生命の尊さを学ぶ。

道徳・特活・総合

- 運動委員会や集会委員会による集会を通して、児童が運動に取り組む機会を作っていく。
- 新体力テストの個人結果を各自記入し、個人で運動能力を高めていこうとする意欲の向上を図る。また、結果を生かし、日々の体育科の授業改善に取り組む。
- 保健委員会による学校保健委員会などを通して、健康で安全な生活に必要な知識を増やす。
- 給食時に配布される「ぱくぱくだより」で、正しい食事のとり方や栄養に関する知識の理解に努める。また栄養士が教室を回り、食育に関する話をするすることで、自らの健康について考える時間をとっていく。

課外活動

- 児童の健康に関する情報を保護者と共有し、生活習慣を整えていくための協力を得ていく。
- 地域の運動会、ソフトボール大会などの参加を通し、運動を通して人と関わることの楽しさを感じられるようにする。

令和元年度 矢向小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体力向上をめざした、ロングタイムの充実

《ねらい》 ・運動への親しみをもつ。
・運動の日常化につながる運動経験の充実を図る。
・運動を通して、体力向上を図る。

《内容》 ・給食終了後の休み時間である「ロングタイム」（12：55～13：30）を活用して、委員会が中心となって、体力を高めるための集会や運動への親しみをもてる機会を企画、実行し、全校児童の体力向上、生活習慣向上を図る。

●指 標： 全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書を用いて、本校児童の「運動意識」や「体力」を分析する。
各取組における児童の状況（参加数、様子、変容等）